

「ライフサイエンス イノベーションセミナー」

「データサイエンスにより加速される医療・福祉・ライフサイエンスの未来」

主催：一般社団法人 日本分析機器工業会 (JAIMA)
JASIS 委員会 医療機器委員会 ライフサイエンス市場研究会

【セミナー概要】

生命誕生に始まり現在に至るまでという地球上長い歴史の中で、遺伝子や蛋白質機能という生命を知るためのサイエンスは、わずか 100 年以内で急激な進歩を遂げてきました。

2001 年ホワイトハウスで公表されたヒトゲノム解読宣言から 20 年あまりを経過する今、生命の仕組みや機能を解き明かす科学は、AI や深層学習などの技法を用いて、指数関数的に加速する ICT 技術変革に同期しながら著しい進歩を始めています。

そこで、今回は次世代における医療・福祉・ライフサイエンスの世界がデータサイエンスによってどのように変革されるのかを知り、未来社会に向けて解決すべき課題のヒントになるトピックスを集め、本セミナーの講演内容といたしました。

2020 年 11 月開催予定の JASIS 2020 ライフサイエンスイノベーションゾーン基調講演では、テーマとして「データサイエンスにより加速されるライフサイエンスの未来」～「創薬・診断」「農林水畜産資源」「フードサイエンス」とスマート社会～ を取り上げ、「Japan as No.1」を目指すための話題を提供いたしますが、これに先駆けて最新情報をお届けするセミナーを企画いたしました。多くの方のご来場をお待ちしております。

【日時】 2020 年 2 月 6 日 (木) 13:00 受付開始 13:30 開始 16:40 終了予定

【場所】 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス 301 多目的ホール

東京都港区赤坂 4-1-26

<交通アクセス>

◇ 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」A 出口より徒歩 3 分

◇ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」A 出口より徒歩 3 分

◇ 千代田線「赤坂駅」徒歩 8 分

<会場詳細> <https://akasaka.iuhw.ac.jp/about/access/>

【参加費】① (一社)日本分析機器工業会 会員 …無料

(一社)日本科学機器協会 会員 …無料

② 上記会員以外の方 …3,000 円

(下記指定の口座への事前振込をお願いします。)

◆振込口座：

三菱 UFJ 銀行 神保町支店 種別：普通 口座番号：1887180

口座名義：シャ)ニホンブンセキキコウギョウカイ

◆振込期限：2020 年 1 月 24 日(金)までにお振込みお願いいたします。

お振込み済のお知らせを webmaster@jaima.or.jp 山内宛にご連絡ください。

【定員】 100 名 (申込み順とし、定員までの受付とさせていただきます。)

【申込方法】 参加申し込みフォームよりお申し込みください。

https://www.jaima.or.jp/jp/lai_application_20200206/

振込手数料は申込者様にてご負担ください。

◆お問い合わせ先：webmaster@jaima.or.jp (一社)日本分析機器工業会 山内

【申込締切】 2020 年 1 月 24 日(金) 必着

【発表プログラム】

13:30 【開会挨拶】

一般社団法人日本分析機器工業会 医療機器委員会委員長

鈴木 信雄

13:35 【ライフサイエンス新時代にむけて変わりゆくライフサイエンス社会の未来とは】

【概要】 バイオサイエンス解析技術全体の概要とライフサイエンス市場が ICT 改革において、今どの位置に存在し、何が変わろうとしているのかを解りやすく解説。JASIS 特別企画ライフサイエンスイノベーションの目指す方向を示します。

一般社団法人日本分析機器工業会

ライフサイエンスイノベーション 担当アドバイザー

岩瀬 壽

13:50 【世界人口の 10% をカバーするオデッセイ医療データネットワーク】

【概要】 診療情報を事後利用して新しい知見を得る活動が世界各地で進められています。それらの中でも、産学官病を問わない国際的自発的なオープンサイエンスコミュニティである「オデッセイ」は開始後わずか 5 年で連携データに推定 6 億人以上が含まれるまで発展してきました。その秘訣は何度も改良されてきた共通データモデルと各組織の本業を阻害しない自由さ、そしてオープンでありながら個人情報の心配がないこと。そのような新世代の医療データネットワークをご紹介します。

国際医療福祉大学 未来研究支援センター 教授

平松 達雄

14:30 【ライフサイエンスのイノベーションにつながる研究データマネジメント】

【概要】 現代の AI 技術の発展は日進月歩であるが、その予測結果の高精度化のためには学習データを拡充する必要がある。そのためには、価値ある研究データを集約し共同研究者と共有し、時には失敗データを競合相手と交換する事も考えられる。実際に全ての研究者の研究データが所属機関で一元的に管理されており、必要に応じてオープン・クローズのデータ共有の選択ができることが必要となる。これは研究データ管理と呼ばれており、ライフサイエンスのイノベーションにもかかせない概念である。本セミナーでは、研究データ管理の概要と国立情報学研究所(NII)が整備する学術機関向けの研究データ基盤の現状について紹介する。

国立情報学研究所

コンテンツ科学研究系・助教

込山悠介

15:10 休憩

15:20 【「ためる」から「つなぐ」へ！

～ デジタルヘルスケアデータの世界流通を実現する革新的プラットフォーム ～】

【概要】 世界 22 ヶ国、70 以上のバイオバンクや医療機関をネットワークし、世界最大規模のヘルスケアデータ流通基盤を構築することに成功した革新的プラットフォーム技術がついに日本にも上陸、活動を開始します。多数の国内大手企業と共にスタートする全貌と近未来に向けての現状をご紹介します。

BCプラットフォーム株式会社

ビジネスディベロップメント・ディレクター

市橋暢哉

15:50 【量子コンピュータ×医療リアルワールドデータの現在地

— 来るべき量子時代に必要な戦略と進むべき道 —】

【概要】 近年量子コンピュータに対する注目度は高く、特に Quantum Supremacy 実証実験の報道後はますます熱を帯びてきている。本セミナーでは、量子コンピュータが描く未来像と来るべき量子時代に必要な戦略について、量子コンピュータの原理や現状を交えながら講演を行う。さらに、デジタルヘルスの基盤である医療リアルワールドデータの利活用の現状に言及し、量子コンピュータと組み合わせることで期待される将来的展望についても講演を行う。

東京大学 医学部附属病院 企画情報運営部 特任助教

文科省医療データ人材育成事業担当

川口英明

16:30 【閉会挨拶】

JASIS 2020 ライフサイエンスイノベーション特別企画のお知らせ

岩瀬 壽

16:40 閉会